



年頭のごあいさつ

「MAKE KAKOGAWA GREAT AGAIN」

～地域の発展は企業の活性化から～

加古川商工会議所

会頭 山本 亜也夫

令和8年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申しあげます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

昨年11月の改選において、会頭を務めさせていただくことになり、改めて責任の重さに身の引き締まる思いでございます。釜谷前会頭のもとで副会頭を3期9年間経験し、商工会議所の地域での役割と立場はよく理解しているがゆえ、一層の重圧を感じていますが、3名の副会頭・役員議員・会員各位のご支援を賜り、職員と創意工夫を重ねながら様々な課題に取り組んでまいりたいと思います。

日本経済は、日経平均株価が5万円台を超え、景況は順調に経過している様ですが、輸入品を中心とする原材料価格の高騰、エネルギー価格の上昇、人材確保のための人員費アップなどから、さらに価格転嫁へと連鎖し物価上昇が長く続いており、企業経営や市民生活に大打撃を与えてています。

この厳しい状況下で、円安進行やトランプ関税、AI導入による省力化や賃上げによる人材不足への対応など、様々な経営課題が山積しており、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。女性初の総理大臣の強力なリーダーシップのもと、政府には緊急的な経営支援策や生活支援策が求められ、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となっています。

当商工会議所としましても、加古川市や東播磨地域の持続的な発展と地域企業の事業継続のため、伴走型支援や継続的な相談体制のさらなる強化を図ります。関係機関とも連携を図り、公的支援策の活用や情報提供、中小企業の経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う「ワンストップ相談窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

当地域では、続々とインフラ整備工事が進められています。昨年11月末には東播磨道が全線開通し、国道2号加古川橋架替や神吉中津線新橋梁は工事中でまだ数年かかりますが、播磨臨海地域道路も都市計画決定に向け着々と手続きが進められており、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現することが期待されています。

かわまちづくり計画や加古川駅周辺再整備事業に取組む加古川市や（一社）加古川観光協会と連携を図り、中心市街地に賑わいを取り戻すため、当商工ビルもさらに大勢の人々が集う交流拠点となって貢献できるよう、様々な試みを検討してまいります。

結びに、本年は丙午「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」と言われています。皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。